

令和7年度むつ市子ども・子育て会議 会議録

令和7年11月26日(水) 午後6:30
むつ市役所 大会議室A

出席者	<p><input type="checkbox"/>出席 松尾委員、山本委員、福山委員、櫻井委員、杉山委員、福嶋委員、田中委員、菊池委員、小川委員、佐藤委員、新川委員、竹本委員、佐藤委員、法量委員、中村委員、天間委員(16名)</p> <p><input type="checkbox"/>欠席 金澤委員、三國谷委員</p> <p><input type="checkbox"/>事務局 【子どもみらい部】 吉田次長 【子ども家庭課】 荒木課長、川村主幹、柳谷主任 【子育て支援課】 辻課長、坂本総括主幹、橋本主幹、田村主任主査 【キッズパーク】 土岐所長</p>
配付資料	<p><input type="checkbox"/>事前配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度第2回子ども・子育て会議資料 ・むつ市こどもの生活状況に関するアンケート調査(子ども用) ・むつ市こどもの生活状況に関するアンケート調査(保護者用) ・むつ市子ども・若者の意識・生活に関する調査 <p><input type="checkbox"/>当日配付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・むつ市子ども・子育て会議委員名簿 ・子ども・子育て会議条例の一部改正について ・むつ市就学前教育・保育施設整備事業について ・第3期子ども・子育て支援事業計画と概要版(新しい委員のみ)
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 辞令交付式 <ol style="list-style-type: none"> (1)辞令交付 (2)市長あいさつ (3)委員及び事務局紹介 2. 組織会 <ol style="list-style-type: none"> (1)子ども・子育て会議会長選任について (2)子ども・子育て会議副会長選任について 3. 諮問 4. 案件 <ol style="list-style-type: none"> (1)むつ市子ども・子育て会議について (2)むつ市第1期子ども計画の概要及び策定について (3)子ども計画に係るアンケート調査について (4)子ども・子育て会議条例の一部改正について (5)むつ市就学前教育・保育施設整備事業について

<p>【開 会】 司 会</p>	<p>時間となりましたので、只今より、令和7年度第2回むつ市子ども・子育て会議をはじめます。はじめに、新しく委員となられた方の辞令交付式を行います。</p> <p>なお、本日は代表する委員1名に市長より辞令を交付させていただきます。</p> <p>他の委員の皆さまにつきましては、自席に辞令を置かせていただきましたので、ご了承いただきたく存じます。それでは、委員を代表して辞令をお受け取りになられる委員のお名前をお呼びいたします。</p> <p>中村 由美子 様 中村様と市長は、前の方へお願いいたします。 (辞令交付)</p>
<p>【あいさつ】 司 会 市 長</p>	<p>ご協力ありがとうございました。市長、中村委員はお席にお戻りください。</p> <p>ここで、市長より、皆さまにご挨拶を申し上げます。 (市長挨拶)</p>
<p>【委員及び事務局紹介】 司 会</p>	<p>次に委員の皆さまをご紹介いたします。順にお名前をお呼びいたしますので、お名前をお呼びした委員の皆さまは、着席のままで結構ですので、所属、お名前等の自己紹介をお願い申し上げます。</p> <p>(委員及び事務局の紹介)</p>
<p>【組 織 会】 司 会 こどもみらい部 次 長 小川委員</p>	<p>つづいて、組織会を開催いたします。</p> <p>組織会は、会長及び副会長の選任までは、こどもみらい部次長が仮の議長を務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>こどもみらい部の吉田です。恐縮とは存じますが、会長、副会長の選任まで、議事の進行役を務めさせていただきます。</p> <p>では、組織会に入らせていただきます。はじめに本日の出席委員数は、こども・子育て会議条例第7条第3項により過半数を超えており、本会議が成立いたしますことを報告いたします。</p> <p>それでは、案件1「こども・子育て会議会長の選任」を議題といたします。</p> <p>会長の選任につきましては委員の互選により定めることとしておりますが、いかがいたしましょうか。ご発言をお願いいたします。</p> <p>前回やってくくださった中村委員が良いのではないかと思います。</p>

こどもみらい部	<p>ただいまの、小川委員のご意見になにかご異議はありませんか。 (異議なし)</p>
次 長	<p>ご異議なしと認めます。会長は前回に引き続き、天使大学の中村委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、案件2「こども・子育て会議副会長の選任」についてとなります。 副会長についても、同様に、委員の互選によるとなっておりますので皆さまよりご発言をお願いしたく思います。</p>
事務局	<p>事務局案は何かありますか。 (事務局案として山本委員を推薦)</p>
こどもみらい部 次 長	<p>ただいまの事務局案にご異議はありあせんか。 ご異議なしと認めます。副会長はむつ市校長会の山本委員にお願いいたします。 会長、副会長が決まりましたのでこれで仮議長の任を降ろさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p>
【諮 問】 司 会	<p>つづいて、これより「こども・子育て会議」に対して市長より諮問を行います。中村会長と市長は前においでくださいますようお願いいたします。 市長より諮問書を読み上げますので、中村会長は諮問書を市長からお受け取り下さいますようお願いいたします。</p>
会長・市長	<p>(諮問書の手交)</p>
【案 件】 中村会長	<p>あらためて、ご挨拶させていただきたいと思います。中村と申します。</p> <p>これまでも、むつ市のこども・子育て会議の会長として務めてまいりましたが、先ほど市長がお話されたように、なかなか少子化に歯止めが利かない状況においてむつ市がこの計画をどのように策定したらよいのか。今回は、色々なアンケート調査の資料が皆様方にお渡しされているかと思いますが、その辺も踏まえて、今、こどもたちが何を問題としているのか、どんなサポートあればいいのかというところを、ぜひ皆様と一緒に考えていきたいと思っております。</p> <p>今年度は令和9年1月から令和11年3月までの第1期むつ市こども計画の策定初年度になりますので、ぜひ皆様からは、忌憚のないご意見いただきたいと思います。</p> <p>前回のこども・子育て会議もそうでしたが、いろんな意見をいただくことで、いろいろな子どものためになる計画策定ができますので、どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>先に、山本委員に少しご意見をいただければと思いますがよろしく申し上げます。</p>

山本副会長	<p>ありがとうございます。正直、会議の様子が、まだ、よくわかりませんが、いただいた資料を拝見しながら、そして、皆様にお話を伺いながら、学校の現場で、何が課題かということをお話しながら、一つでもむつ市として、むつ市だからこそできることを、皆さんで知恵を出し合っていける会議になればと思っておりますのでお願いしたいと思います。</p>
【案件1】	
中村会長	<p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p>
事務局	<p>はじめに、「(1)むつ市子ども・子育て会議について」事務局より説明をお願いします。 (案件1の説明：子育て支援課)</p>
中村会長	<p>ただ今の説明について、ご意見ご質問等はありませんか。 (なし)</p>
【案件2】	
中村会長	<p>次に「(2)むつ市第1期子ども計画の概要及び策定について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(案件2の説明：子育て支援課)</p>
中村会長	<p>ただ今の説明について、ご意見ご質問等はありませんか。 (なし)</p>
【案件3】	
中村会長	<p>次に「(3)子ども計画に係るアンケート調査について」事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>(案件3の説明：子育て支援課)</p>
中村会長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はありませんか。</p>
天間委員	<p>ご説明ありがとうございました。何点かあるのですが、まず、対象年齢についてお伺いしたいと思います。調査の年齢の幅が広いというのが第一印象としてあります。少子化に歯止めをかけたいというような話もあるなかで、今、小1の壁とって、幼稚園や保育園と小学校との連携で苦勞される親御さんや学校の先生方が苦勞されているので、その部分で、子どもの生活状況調査というものをしなくても良いのかということが一つ。</p> <p>また、今、進学率も9割を超えていますが、進路を考えるお子さんと高校2年生のお子さんと保護者の方に手当する必要はないのかなということが一つ。</p> <p>さらに、ヤングケアラーは、学生と話をしていても、いや、まさにそれが虐待とかDVではないかという話を聞いたりするなかで、ヤングケアラーは、自分でヤングケアラーの自覚がないので事業所向けのアンケートって取らなくても良いのかということが気になっているころでした。</p>

事務局	<p>まずアンケート調査の対象年齢についてですが、未就学児のお子さんの保護者等に対しては本日、皆様の方にお渡ししておりました、第3期子ども、子育て支援事業計画の調査において、未就学児、小学校1年生から6年生の保護者約1200名に対して、保護者の経済的なものを含めた、様々な負担感などの調査を実施しておりました。</p> <p>今回のこども計画の策定には、前回の調査結果の数値も合わせて使わせていただきたいと思っております。</p> <p>また、小学校5年生と中学校2年生にした理由としましては、令和4年に策定した「こどもの貧困対策推進計画」があり、その時に同じく、小学校5年生と中学校2年生に調査をしており、比較ができるということと、国や県内で先行して実施した自治体も参考に今回は小学校5年生と中学校2年生に調査することとしました。</p>
天間委員	<p>少子化という視点から県外流出等、市外に若者が出ていくタイミングとしては、就職の前に進学という段階があります。高校2年生はちょうど進路を決定するタイミングなので、高校2年生に対してどのようなニーズがあるのかを把握できればよいのではないかと思います。この、「こども・若者の意識調査」でも一応15歳から19歳の方は対象になっているので、ここでも数は拾えるのかなと思いますが、質問の内容が、学生の生活とか保護者の負担感などの質問で、市内にとどまるためのニーズを捉える質問にはなっていない感じなので、例えば、15歳から19歳の年齢の幅を17歳までにして、18歳から24歳などの枠にするともう少し意見が取れやすいと思います。</p>
事務局	<p>今、天間委員がおっしゃったのは15歳から39歳までのこども・若者の意識・生活調査についてでしょうか。</p>
天間委員	<p>はい。その通りです。若者で取るよりも、学生やこどもに取った方が、将来的に、地元に戻りたい、地元に着きたい、ということが見えるのかなと思いました。</p>
中村会長	<p>そうすると、もう一つ調査を増やすってことですね。15歳から39歳だけではなく、高校2年も追加して、小5、中2、高2でやってみては、という意見かと思うのですが、その辺、事務局はいかがでしょうか。</p>
天間委員	<p>こども・若者の意識・生活調査を、学生を除く枠にすると、少し数字の見え方がわかりやすくなるのではないかと思います。地元に着けるとする視点で見れば、そのような枠組みで調査した方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>実は、この調査については12月中に調査を実施したいと思っており、ほぼ、対象者データを準備し終えたところで、対象者の変更が難しいと考えています。また、天間委員がおっしゃる若者に対しての帰属意識ですが、実はこの15歳から39歳の方々には無作為と言いながらも、各年代を均等にこの調査対象者に含めるようなデータ抽出をしておりました。高校生もある程度、含まれるため、大きく年代が偏るというよ</p>

中村会長	<p>うなことはないかなとは思っております。</p> <p>そうすると例えば、問7に「あなたの現在の仕事をお答えください」というところで、学生を選んだ場合は、少しは分析できるということになりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>私からも一つ提案をさせていただきたいのですが、例えばこども用調査であれば、問7「あなたの学校生活などにおいて以下の中で当てはまるものはありますか」と当てはまる番号全てに丸をつけて選ぶ設問があり、何の項目が、何パーセントみたいな形で結果が出るのですが、実はそれだと問題を明確にできないと思います。</p> <p>提案したいのは、全部でなくても良いのですが、当てはまる番号を全てに丸をした後、「重み付け」というのですが、大切なものから1, 2, 3と順位を書いてもらってはどうか。選んだものに差があるか、ないかを統計的に処理できればもっと有意義な調査になると思いますので、是非、重み付けについて提案させていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。ただいまの中村会長の提案についてですが、全てに丸をつけるという設問を、例えば大事なもの1位から3位までにする等、順位付けしていくというイメージでしょうか。</p>
中村会長	<p>あてはまる番号全てに丸はつけていただくのですが、それにプラスして、そのなかで1番多い項目、2番目に多い項目、3番目…というように順位をつけていく。</p> <p>そうすると、統計的に数だけではなくて、重み付けして数値を出せるし、結果、ある項目を選択した数はたくさんあるけど1位は少ない、あるいは逆に、数は少ないけど1位が多ければ、そこから色々な分析ができて、計画にその数値を使えることができる。もちろん、全部でやるのではなくて、特に聞きたい箇所で行うのがよいと思います。</p> <p>市長もおっしゃったように、むつ市の何が今一番問題なのかを把握するためには、そのような統計手法が必要かなと私は前回の反省も含めて思っていますので、ぜひ検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今、調査票を確認してみて、例えば、こども用の調査票であれば、なぜあなたが相談しないのか、その理由を尋ねる設問すべてに丸をつけてもらって、その中で今、会長がお話しされたような重み付けができるのかな、また、こども・若者意識調査のなかでは、結婚の項目について、なぜ、結婚しないのかの理由の設問等で、重み付けの設問ができるのではないかと思います。</p>
中村会長	<p>はい、それでよろしいかと思えます。ただ、全部ということではなく、大事なところをクローズアップしていくことが大切だと思います。</p>
事務局	<p>このアンケート調査については、ウェブ回答することになりますので、委託業者の</p>

<p>(斗南コンサル) 赤松氏</p>	<p>赤松さんから少し、重み付けの設問について意見をお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>斗南コンサルティング合同会社の赤松と申します。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>先ほどの重み付けの件ですが、今回の調査ではウェブ回答も可能で、そのフォームを構築しているところで、重み付けの設問や回答について、フォーム作成業者に問合せしていました。業者からは、作成は可能だが、だいぶ見づらい画面になるという回答がありました。</p> <p>スマートフォン等の画面で回答する人が多いと思うのですが、そのスクリーンの中に紙ベースで見ているような表や行の列があり、そこから1番、2番、3番を選ぶというのがなかなか難しく、例えば、全部選択し終わった後に、再度、1番を全部の選択画面の中から選ぶ、次のページに行って、再度、全部の選択画面から2番を選ぶみたいな形になっていくので、ページ数が増える可能性があると思っています。</p>
<p>中村会長</p>	<p>Web 回答でも、例えば何番かっていうのを入力してもらえばどうでしょうか。例えば「一番困っているのは何番ですか」と、番号を選んでもらう、ご本人は画面上の表を見なければならぬけど。同じ Google フォームでは、以前やったことはあります</p>
<p>(斗南コンサル) 赤松氏</p>	<p>はい。Google フォームで、できないことはないのですが、見づらくなるというのが一点と、あとは現状で質問数がだいぶ多くなっていましたので負担をできれば軽くしたいということもあり、今回その重みづけのところは最初の段階では省いていました。</p>
<p>中村会長</p>	<p>ただ項目に○をつけて選んで、パーセンテージで結果を出しても、私的には使えないデータになると思います。結局、これが、いくつあったというだけで終わってしまいます。</p> <p>以前も、市の何かの調査結果を見させていただいたが、本当に分析ができないデータだったと思いました。だから、せっかく調査するのであれば、意味のある統計になるようにしていただきたいと思います。</p> <p>設問について見ていましたが、そんなにたくさんないと思っています。多分、二つか三つぐらいなので、本当に問題点を絞っていくのであれば、何がいくつあっただけではなく、しっかり差が出るような統計にしていきたい。</p> <p>それが逆にいうと、むつ市の子どもや若者の何が問題かということをはっきりと浮き彫りにできるのかなと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>ただいま、中村会長からいただいた意見を参考に、重み付けできる設問を抽出して、アンケート調査票のなかに盛り込んでいきたいと思っております。</p>
<p>中村会長</p>	<p>その他にかありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどの天間委員のご質問に少し加えさせていただきたいと思います。先ほどの、高校生が、ちょうど進学や就職等で市外に出るか、むつ市にとどまるのかということ</p>

	<p>に関係した調査についてですが、むつ市総合経営計画で関連するような調査がないかを確認したところ、市内の高校生や大学に通学する学生を対象とした調査を行っているようでした。</p> <p>その質問項目見たところむつ市で就職したい理由や、市内で就職したい理由等が設問にありましたので、それらの結果をこの「こども計画」にも活かせるのではないかと考えておりましたので、こちらの調査結果も参考にできればと思っておりました。以上です。</p>
中村会長	<p>ありがとうございます。はい、それではその他の皆様の方からご質問とかご意見ありますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>会長のご意見に賛成です。自立支援協議会でも障害分野の計画作成等に関わっているなかで、しっかりした統計を取るときに、数字だけ、パーセンテージだけ出しても、中身はどうなのかが、なかなか見えてこない。実際、現場にいるので、実情を知って、その評価をするときに、やはりパーセンテージだけだとなかなか難しい。その先どうしていくのかというところが、この計画で大切だと私は思っていますので、調査の仕方については検討してほしいと思います。</p>
中村会長	<p>はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか？</p>
櫻井委員	<p>実際にはいろいろ事務局で検討しているとは思いますが、アンケートを見て感じたことが何点かありました。</p> <p>まず、小学校5年生を対象とするということですが、5年生が、これ読めるかなというのが一点あります。全員が本当にこのアンケートに答えられるのかなと思いましたが、こんな漢字にもというくらいの漢字にも、ルビをふるなどの工夫はしてもいいのかなと思います。</p> <p>2点目は、こども用調査票の1枚目表紙に、「保護者の人には見せる必要がありません」と書いてありますが、一つの世帯に、親とこどもの分が郵送されるのですよね。その時、親子でそれぞれ調査の回答をするのですが、例えばこどもが、正直にヤングケアラーであることを書いたら、親がこどもに「ちょっと見せなさい、何てことを書くんだ」と、というような悲しい結果を産む家庭が出てくるのではないかなという心配があります。それを改善するためにどんな手立てがあるかは思いつかないのですが、そのような点を何かしら考慮する必要があるのかなと思いました。</p> <p>最後に、先ほど、重み付けという話があって、自分でも調査票を見ていたのですが、例えば事実を答えるのであれば、当てはまるもの全て選んでもいいのではないかと思います。意識等を問うのであれば、「当てはまるものを三つ答えなさい」等、少し絞った形で問うこともできるのではないかと思います。</p> <p>山本先生にも出席いただいておりますので、こどもを浮かべながら、この調査票を読めるかなと考えたときに、どのようなものでしょうか。</p>

<p>事務局 山本副会長</p>	<p>いかがでしょうか、山本委員</p> <p>はい、ありがとうございます。そうですね。同じようなことを少し考えていました。だいたい設問数を絞ってくださったとはお聞きしているのですが、小学校5年生の実態を考えると、問題者が多いというのは、なかなか普段のアンケートでも39問もあるというアンケート調査は聞きませんが、調査をする上でこれが全て必要ということであれば、それはそれで市として通すべきだろうなと思います。</p> <p>ただ、ルビの点は先ほど櫻井委員がおっしゃっていたように、できるだけ振っていただければ助かります。</p> <p>私から非常に細かいことですが、アンケートを紙媒体で回答するか、それともQRコードでスマホを使ってやるか、どっちが多いかと考えると今、タブレットを使っている回答が今は、ほとんどです。その時、学校によってタブレットの持ち帰りの対応が違います。本校の場合は毎週水曜日に家に持ち帰る、また、長期休業中は自宅に持ち帰りしていますが学校によっては持ち帰らないところもあります。そうすると多くのアンケートが学校で答えるというのがほとんどです。ただ、今回、事務局で学校の負担を減らしていただき、家庭へのアンケートを直接郵送していただいたことに感謝しているのですが、この1枚目の表紙を見たときに、小学校5年生がスマホを持っていることを前提と読み取れなくもないのです。タブレットもあるWi-Fi環境ある。ただ、それが無いお子さんたちも当然います。スマホを持っていない場合、家のスマホを使ってもいいのかという判断だとか。また、タブレットは学校から持ち帰ったものを使ってもいいかという質問が、事務局に行く可能性があるのも、もちろん学校では回答できませんのでその回答の準備をしていただきたいということと、また、直接、アンケート票に記入して回答ということも書いてありますので、どちらを選ぶかはそのご家庭によるものだと思いますが、手軽さと手間のかかり方と問題数を考えたときに、もしかしたらこちらで、こちらで思っているほどの回答が集まらない可能性もあるということは十分に留めていただければと思います。</p> <p>学校でとるアンケート等も100%の回答はほぼないし、よくて7割くらいなので、そこを想定して進めていただければと思います。</p>
<p>中村会長</p>	<p>貴重なご意見ですね。事務局の方はなにかありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、山本委員のご意見、ありがとうございました。また、櫻井委員からご指摘のあった保護者には見せる必要は無いというところでの少しの工夫なのですが、一応、郵送で回答する場合は、返信用封筒は「こども用」と「保護者用」の2枚を同封しております。なので、こどもは、こども用封筒と書かれた封筒に入れて返信していただくこととなります。お二人の委員からご意見のあった、ルビについてはぜひ工夫させていただきます。</p> <p>また、山本委員の方からご指摘のありましたような回答率の部分で、確かに設問数はかなり多いように感じますが、皆様にお示しする前段階では、更に多く、50問ほどあったもの絞って今の設問数となりました。ただ、まだ少し時間がありますので、どこか絞れるような設問がないかも再度考えてみたいと思います。貴重なご意見をあり</p>

	<p>がとうございました、</p>
中村会長	<p>その他、皆さん、ご質問、ご意見などありますでしょうか。 (なし)</p>
【案 件 4】	
中村会長	<p>次に本日の追加案件となります「(4)子ども・子育て会議条例の一部改正について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(案件4の説明：子ども家庭課)</p>
中村会長	<p>ただ今の説明について、ご意見ご質問等はありませんか。 (なし)</p>
【案 件 5】	
中村会長	<p>次に「(5)むつ市就学前教育・保育施設整備事業について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(案件5の説明：子ども家庭課)</p>
中村会長	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問等はありませんか。</p>
杉山委員	<p>今、説明いただいたのは、自分の園の状況なのですが、一つ訂正ですが(4)の整備が必要な理由についての上から4行目の部分ですが、ガス漏れではなく、スガ漏れではなかったかと思しますので、修正をお願いします。</p> <p>見ての通り昨年突然、堰を切ったように、このような状況になって、これまでも少し雨漏りをしていたのですが、突然、去年から保育室などの真ん中に水溜りができるような状況になりました。皆さんにご検討ぜひお願いしたいと思います。</p>
中村会長	<p>私の方からですが、市民が要望する支援事業を実施する予定というのは、具体的にはどのようなものなのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらにつきましては、今、検討して、協議をしている段階でした。</p>
中村会長	<p>協議はむつ市と保育園とで。</p>
事務局	<p>はい、そうです。むつ市としても、このようなものが必要なのではないかという話をするにあたって、今回の会議で何かご意見があれば、そちらもお聞きしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
中村会長	<p>みなさん、いかがでしょうか。こんな事業が新規であったらいいというものがありましたらどうぞ。学童保育等の事業等はやってないのでしょうか。</p>

杉山委員	当園では特にやっていないです。
中村会長	小学生をお世話してくれるところが少ないとも聞きますので、そのような需要があれば学童保育というのもいいのではないかと思います。ただ、自分のところの卒園生が中心になったりするのかもしれませんが。
杉山委員	ちょうど今、園児数が減って一部屋空いているので、そのようなスペースを使って、このような会議の場でも出された意見の中から、むつ市にどんなものがあれば、あるものでも足りないものややっていければいいなと思っています。
中村会長	その他、皆さんどうでしょうか。私は、最近はずっと住んでいる訳ではないので。また何かありましたら、事務局の方にご連絡いただければと思います。
【その他】	
中村会長	最後に、その他、委員の皆さまから、何かありませんか。 (なし) 事務局から何かありますか
事務局	事務局から2点ほどご連絡させていただきます。 まず、一点目ですが、案件の説明にもありましたが、次回の会議は3月ぐらいに予定しておりますのでよろしくお願いいたします。 二点目ですが、本日、皆さまにご検討いただいたアンケート調査票についてですが、皆様の方に「こども計画アンケート調査ご意見など(FAX送信票)」と書かれたものをお配りしております。調査票について、この言葉の使い方はこどもを傷つけるのではないか、この文章は間違いではないか等があれば、この票をそのままFAXしていただいてもよろしいですし、QRコードからアクセスしていただくことも可能ですので、12月5日までご意見いただければなと思っています。以上です。
中村会長	これまでの案件の他に委員の皆さまからなにかありませんか。なければ、スムーズな議事進行に協力いただきましてありがとうございます。ここで議長の任を降ろさせていただきます
司 会	以上をもちまして、令和7年度第2回むつ市こども・子育て会議を終了いたします。 皆さま、お疲れ様でした。 (終了)